



国士館中学校・高等学校 校長

## 川野 一成

### かわの・かずなり

1944年生まれ、福岡県出身。1966年国士館大学体育学部卒業

1966年国士館中学校・高等学校教諭として奉職、高等学校柔道部を指導

1985年中学校柔道部を設立し監督となり、その後、中学校・高等学校柔道部総監督。その間、中学校・高等学校で幾多の全国制覇を遂げたほか、多くの一流アスリートを育て上げ、全日本選手権・世界選手権・オリンピックにおいて多数のメダリストを輩出

1992年高等学校体育連盟柔道部顧問

2002年国士館中学校・高等学校副校長を経て、2004年同校校長に就任、同年より学校法人国士館評議員

2007年国士館スポーツ振興会会長

本校では「読書・体験・反省」の三綱領を実践し「思索」することで「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げています。この三綱領は今で言う「PDCA」(Plan Do Check Action)にあたります。国士館の創立者をはじめとする先人たちは1917年の創立時に、既に今の先取りをしていたのです。

中学・高校で過ごす6年間は、健全な心身を育むうえでとても大切な時期です。本校が一貫して取り組んでいる武道教育により、人としての振る舞いの基本、つまり、人に対する接し方や礼儀作法の習得、あるいは心身の鍛錬によって「生きる力」を養っていくことを目指しています。ただし、決して一方的でなく、生徒の目線で親身になって教えていくことが何より大切だと考えています。教師自らも一緒になって、必死に物事に取り組む姿勢を見せることで、同じ思いや時間を共有することができ、両者の間に信頼と未来を変える力が生まれてくるのです。生徒たちの活力は様々な分野に波及しています。オリンピックアスリートを輩出した柔道・シンクロナイズドスイミング・サッカーはもとより、全国大会出場を誇る運動部の実績はいうまでもありませんが、文化活動においても将棋の第Ⅰ期・Ⅱ期リコー杯女流王座戦での本校生徒の優勝や、作文コンクール「私の主張」においての文部科学大臣奨励賞のほか、書道部・吹奏楽部・美術部なども成果を上げ、高い評価を得ています。

中学校においては、少人数分割授業を実施するとともに、英会話、環境問題や介護体験など多彩な講座を設けています。高校全日課程では、1年次には基礎学力の徹底を図り、2年次からは大学進学率の向上を視野に入れた授業を展開しています。定時制課程・通信制課程では、国士館大学の講義を受講することができます。人間教育の一環として武道や、芸術を組み入れ、個性を引き出していきます。

将来の方向性を見極め、自らの夢へアプローチする第一歩として、中学・高校での生活は重要です。本校で得た知識やさまざまな体験を通して人に対する思いやりの心を醸成し、「生きる力」を持った生徒を育てていきます。情熱がない所には何も生まれません。私たちは愛情と情熱を持って、生徒一人ひとりが持っている能力を最大限に発揮できるよう、あらゆる努力をし、環境を整えていきます。それが本校の役割であり、使命であると考えています。

# 中学校・高等学校

## Junior High School / Senior High School

中学・高校の6年間は、心身の成長とともに、個性や感性を磨く大切な時期です。国士館中学校・高等学校では、中高一貫教育システムにより、学力の向上だけでなく、「こころの教育」を重視。礼儀作法や倫理・道徳観などを身につけながら、社会生活に必要な「生きる力」を養います。

### 中学校

#### 基礎学力の向上と心の教育を視野に入れたカリキュラム

人格や能力の基礎が養われる大切な中学校時代。本校では、中高一貫制によるゆとりある教育システムにより、生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばすことができるよう、万全の体制で取り組んでいます。カリキュラムは、基礎学力と情操教育を視野に入れて編成。中でも、武道や書道、道徳を授業に取り入れることで、礼儀作法や倫理・道徳観、協調性などを身につけることが可能になります。また、国際化社会に対応できるよう、英語学習にも力を入れています。英語検定準2級の取得を目標とした英語学習を進め、ネイティブスピーカーの講師による英会話の授業を行うことで、実践に活かすことのできる会話力を身につけます。



### 高等学校

#### 社会で必要とされる人間の育成を目指す

高校の3年間は、希望する進路を見定め、その実現に向けての実力を養ううえで重要な発展期間となります。生徒一人ひとりの適性を磨き、育む教育を目指して学習指導と生活指導の充実を図っています。中学で培った基礎力をベースに学力・体力・精神力、そしてバランス感覚を備えた、「生きる力」を育みながら、それぞれの個性と可能性を引き出すことを重視。知識を詰め込むだけでなく、社会で必要とされる人間の育成を目標に、自ら考え、伸長していける環境づくりを行っています。



### 全日課程

#### ■普通科

#### 個性を引き出す多彩なコース制

生徒自身が自らの適性を伸ばし、目標を達成できるよう多彩なコース制、豊富なカリキュラムをそろえています。1年次には徹底して基礎力を養成し、2年次には文系・理系を含めた4つのコースから進路を選択します。いずれのコースにも、カリキュラムの中に人間教育の一環として武道(柔道・剣道)、芸術(音楽・美術・書道)を組み入れています。また、月曜日から金曜日の放課後にはより高い学習力の向上を図るための学習サポートの時間を設けています。

### 定時制課程

#### ■普通科

#### 通信制や大学の講義も受講可能な柔軟なシステム

午後1時始業の昼型3年制、週5日制、2学期制、単位制、クラス制を採用しています。英語を中心とした基礎学力の向上を重視し、通信制課程の授業が受けられる定通併修や国士館大学1・2年次の講義を受けられる高大連携など、柔軟性のあるシステムを取り入れています。

### 通信制課程

#### ■普通科(AAコース・ICコース)

#### 自分に合った選択が可能な2つのコース

4学期制、年4回の単位認定、74単位以上の修得が卒業条件となる単位制を採用。6週間のスクーリングを行うAAコース、毎学期スクーリングを1週間に集中させることで自由な時間をスポーツや芸能活動などに充てることのできるICコースの2種類のコースから選択でき、自分のペースで学ぶことが可能です。

転入学の場合は、単位修得状況により前籍校の高校生と同年度に卒業することも可能です。